

広尾中学校 「2022年度 未来の学校ビジョン」

将来の変化を予測することが困難な時代に、自らの人生を切り拓き、生涯を生き抜く力を子供たちに培っていくことが求められていることを踏まえ、以下の教育目標を定める。

- ◇自らの頭で考える生徒の育成
- ◇自分の人生をデザインできる生徒の育成
- ◇変革やチャレンジをし続ける生徒の育成

【目指す姿】

【学校像】信頼と誇りに基づいた、活力と落ち着きのある学校

- ◇区民に信頼される学校
- ◇区民と共にある学校
- ◇生徒たちが誇れる学校

【生徒像】自信とやる気を持ち、人間性豊かで、

知・徳・体をバランスよく備えた生徒

- ◇思いやりを持ち、認め合うことのできる生徒（**道徳科の充実**）
- ◇互いに学び合い、深く考える生徒（**主体的・対話的で深い学び**）
- ◇朗らかで、心身ともに健康な生徒（**いじめを許さない**、体力向上）

【教職員像】授業力・指導力、情熱・使命感、実行力のある教員

専門性が高く、迅速に行動する職員

- ◇生徒の笑顔を第一に考える
 - 子供が充実感、達成感を得られるよう最大の努力をする。
- ◇いつでも“笑顔”を忘れない
 - 私たちの“笑顔”が、生徒たちの“笑顔”をつくる。
- ◇感謝の気持ちを常にもつ
 - 感謝の心が自分を謙虚にする。
- ◇常に改善・向上を目指す（**働き方改革に向けた取組**）
 - 現状に満足せず「どうすればできるか」を考え、実際に行動する。
- ◇法令を順守し、正直で誠実な行動をする
 - 日々の行動が学校の信頼を高めることを自覚する。

『広尾ブランドプラン』 ～世界へ羽ばたく人材の育成～

コミュニティ・スクールとして、地域に貢献できる人材を育成する。

『シブヤ科により地域や学校を誇りとする生徒』、『多様な価値を理解する生徒』

鍛える

心と体を鍛える

- ◆広尾大作戦
- ◆はーとふる活動
 - ・君はどこかでヒーローヒロイン
 - ・はーとふるウィーク
- ◆人権講演会・作文
 - ・命の大切さを学ぶ教室
- ◆キャリア教育
 - ・職場体験学習
 - ・進路指導の充実
- ◆国際理解教育
- ◆障害者理解教育
- ◆道徳科の充実
- ◆体力の向上

究める

学びを究める

- ◆分かる授業の保障
 - ・基礎的・基本的知識及び技能の確実な習得
 - ・ICTの活用（タブレット端末）
 - ・個→集団→個を意識した指導
- ◆シブヤ科の充実
- ◆デジタル・シティズンシップの育成
- ◆表現する活動の充実（話す、書く）
 - ・ブックトーク指導
 - ・レポート&ノート指導
 - ・新聞指導
- ◆英検・漢検・数検チャレンジ
 - ・3年間で資格を取得する
- ◆学びの深化
 - ・大学との連携による授業

かかわる

人・地域にかかわる

- ◆地域でのボランティア活動
 - ・氷川クリーン作戦
 - ・氷川地区運動会
 - ・新橋地区運動会
 - ・新橋子ども広場
 - ・その他
- ◆國學院大学の留学生との交流
- ◆高校生との交流（中高連携）
- ◆小学生との交流（生徒会）
- ◆地区合同防災訓練の充実
- ◆渋谷ユナイテッドとの連携
- ※感染防止策を講じた上で、できることできないことを見極める

☆感染防止策を講じた柔軟な学校運営を目指す

- ★オリンピック・パラリンピック教育レガシーアワード校 → ・ボランティアマインド、国際理解教育、障害者理解教育
- ★都市型中高連携校 → ・教育課程の連携 ・キャリア教育の充実 ・部活動の連携
- ★近隣大学&企業等との連携 → ・アカデミックな授業を体験
- ★小中連携教育の拡充 → ・児童&生徒の交流 ・教員の連携強化
- ★教職員の資質能力の向上 → ・指導計画及び評価計画の見直し、校内研修の充実
- ・妥当性・信頼性の高い評価・評定 ・ICT活用能力の向上及び授業力向上